

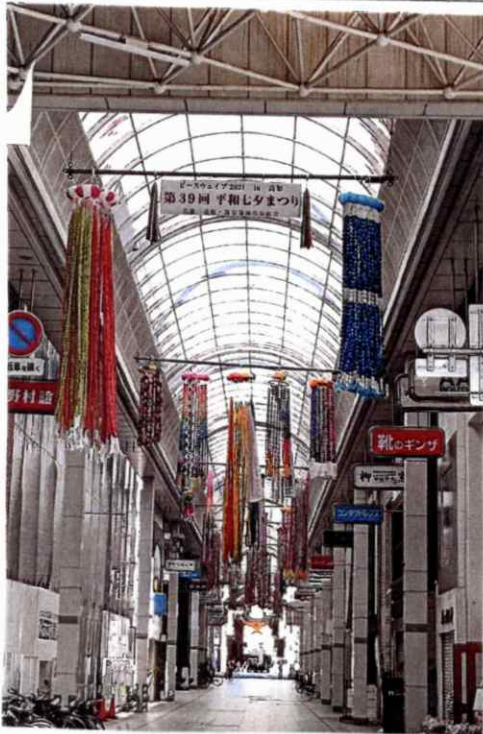
こんにちは 中根さちの ハーフシター

日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース

県議会 控室 823-9524
自宅 872-9324

高知市丸の内1-2-20
高知市福中町1475-3

2021. 7. 18.
No. 695



1992年画「子どもの平和」の複製作品です。29年前の絵です。今年「夏」に高知市立美術館で展示しました。

「上の写真は、京町にかざられた平和の祈りを込めた七夕飾りです。小さな折鶴がぎゅっしりつなわっています。下の写真は、戦争と平和を考える資料展で目にした29年前、おノ回のみんが甲子園の最優秀投手。高知生への感性が感動をよんだら思いました。

6月
県議会 塚地議員
代表質問より

「エネルギー」
SDGsの「気候変動」について

2030年までの中期目標が大切

知事↓2050年に向けた30年までの中期目標を、高知県としても本年度中に策定する。

●環境問題、気候変動のとりこみは「環境正義」「気候正義」として、考え方の普及をはかるべき。県民と県の施策が共通認識となるよう。

知事↓「環境保全と社会的正義の同時追求の必要性を示す」概念と承知している。「誰一人取り残さない」持続可能な多様な包摂性のある社会へ考え方を普及していく。

高知市鏡土原の石灰鉱山開発計画について

●昨年夏以来、石灰鉱山開発計画にともなう、鏡地域で地区毎の説明会を開催する業者に対し、地元・周辺住民から様々な不子や怒りの声があふりました。今年5月、業者から「県道6号線の拡幅が難しい」という回答が県からあり、計画を見直す。どんな方法で実現できるか、知見を絞りこむとの発言があり、これまでの計画は撤回されました。県費を130億投入しての県道2車線拡幅は、安全を計ることを考えれば「190~250億かかる」との県の試算も改めて出され、むりに県費で進めれば企業倫理や高知市のもろ土計画にも大きな問題があることが明らかになっています。高知市の水源涵養林をつぶし、鏡川上流地域に開発で出る土を積み上げることは、高知市の飲み水をどう計画してもなり、ひき続き、SDGsの考え方で、環境域の視点で、ストップさせた県の姿勢をとりました。

ピースウエーブのとりこみ

てくてく歩記 (692)

わたしは、写真の91才の私の母です。隣り同士です。いまは7月、6月下旬、特養に入ることが突然決まって入所しました。これまで、多くの皆さんに援助していただいていたが、お母様は、お母様がお世話になり、面会にかよひ日に、本人は元気でニコニコ。お母様は、少し顔を見ればホッとします。

